

コンテンツ強化専門調査会（第8回） における主な意見

1. デジタル・ネットワーク社会の先端を切り拓く国となる

- クラウドのような新しいビジネスに対して、法律制度が妨げることがないように制度改正が必要。
- クラウドの実態を明確に把握して、課題を整理していくべき。
- 権利制限の一般規定は今国会で立法化される予定であるが、クラウドやパロディについては先送りになった。なるべく早急に取り組むべき。
- 著作権法改正については、遅々として進みにくいということもあるが、電子書籍関連、クラウドについては迅速に取り組むべき課題と認識。
- 違法コピー対策として、スリーストライク制の導入の検討、違法ダウンロード規制のゲーム等への範囲拡大を検討すべき。
- 違法ダウンロード規制については、刑事罰を含めて考えなければ、若い世代の意識は変わらないのではないか。

2. クールジャパンを推進する

- 拠点整備のためには製作機能が重要であり、権利者と製作者が連携することが必要。
- クールジャパンのイメージ戦略については、幅広く意見を募って進めるべき。
- ドラマの海外展開に音楽の権利処理がネックになっているという話がある。権利処理を円滑にするためのガイドラインの策定等の検討の場を設置すべき。
- クールジャパンを象徴する「アイコン」が必要ではないか。
- 「アイコン」はヒットすれば自然発生的に見えてくることではないか。
- 中国や韓国への展開に対し、官民一体で進めていくべき。

3. 基盤となる人財育成を加速する

- クリエイターの学校派遣の際、クリエイターから、権利を守ることの大切さを伝えていく機会にもすべき。
- 自分で判断できる力を伸ばすべきという意味で、「メディアリテラシーの育成」が重要。
- 外に出るだけでなく、アニメ産業が海外から受注したり、撮影誘致など海外から呼び込む視点も重要ではないか。
- プロの育成だけでなく、普通の子供たちのネットによる国際交流を進めていくことが重要。

4. その他

- 骨子に盛り込むべき事項の優先順位をつけていくことが重要。
- 今回のパブコメには、非常に良い内容が含まれており、中間段階でパブコメを取るのも有益ではないか。

以上